

DON QUIJOTE Report 2006

株主メモ

決算期	毎年6月30日
定時株主総会	毎年9月下旬
配当金受領 株主確定日	6月30日及び中間配当金の支払を行う場合は 12月31日といたします。
基準日	6月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
名義書換代理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱所	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-707-696 (フリーダイヤル)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 全国本支店
公告の方法	電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によ ることができない事故その他やむを得ない事由が生じ た場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 ※公告掲載の当社ホームページアドレス http://www.donki.com/b/ir/

(お知らせ)
住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求及び配当金振込指定に必要な各
用紙ご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル 0120-86-4490で24時間受付
けております。



株式会社 ドンキホーテ

東京都新宿区西新宿 2-6-1 (〒163-0235)
新宿住友ビル35F
TEL. 03-5381-7532
FAX. 03-5381-7606
<http://www.donki.com>

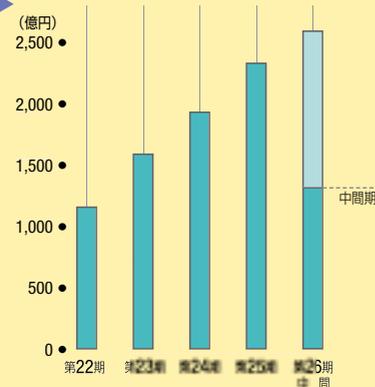


第26期中間事業報告書

2005年7月1日～2005年12月31日

- P1 中間決算ハイライト
- P2 株主・投資家の皆さまへ
- P5 全国に広がる店舗一覧
- P7 トピックス
- P9 連結財務諸表
- P11 単体財務諸表
- P12 会社・株式データ
- P13 アンケート結果のご報告

売上高

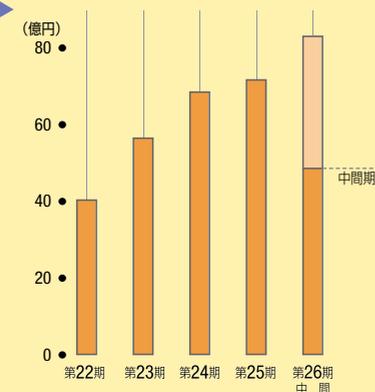


経常利益
経常利益率

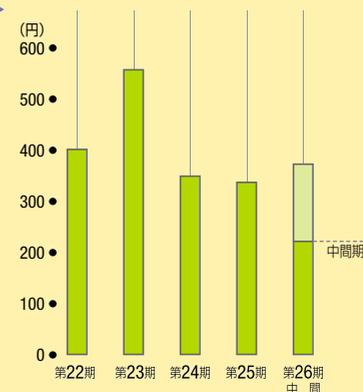


**7532計画の達成、16期連続増収増益に向かって
着実に数字を積み上げています。**

当期純利益



EPS
(1株当たり
当期純利益)



**ドン・キホーテの新しい時代は、
好調な滑り出しで始まりました。**



代表取締役会長
兼 最高経営責任者 (CEO)
安田 隆夫



代表取締役社長
兼 最高執行責任者 (COO)
成沢 潤治

新マネジメント体制がスタート

会社設立から25年が経過したドン・キホーテは、まだまだ伸び盛りです。2007年6月期の達成を目指す中期経営計画「7532計画(経常利益率7%超・EPS(1株利益)500円超・売上高3,000億円超・20%及び2桁成長)」の折り返し地点のこの中間期に、計画達成に向けて、経営体制の強化を進めました。

2005年9月、創業社長の安田隆夫を代表取締役会長兼最高経営責任者(CEO)に、副社長の成沢潤治を代表取締役社長兼最高執行責任者(COO)とする新しいマネジメント体制に移行しました。全国25都道府県に115店

舗を展開する企業として、より大きな未来を手にするために、グループ全体の戦略を安田が率い、業務執行の責任を成沢が担う経営体制は、役割分担がより明確になり、コーポレートガバナンスの強化にも、より一層のスピードを持った経営にも、大きな力になると考えています。

多様なニーズに応じて増収増益を達成

当中間期も、ドン・キホーテ第一号店出店以来の増収増益の勢いをとめることなく、既存店の収益向上に加えて、的確な出店計画に基づく新店の寄与、効果的な商品・販売施策により、好調な滑り出しとなりました。とくに2005

年12月の既存店販売高は前年同月比7.1%増と、総店舗数が20店を超えた2000年以降で最高水準の伸び率を記録しました。近年まれにみる厳しい寒さにより一部の季節商品が牽引した側面があったものの、歳末商戦ならではの多様なニーズに応える品揃えの幅広さが、お客さまの支持を得たと自負しています。

なお当中間期の出店状況は、東北エリアで初めての店舗となる「パウ仙台南店」を7月にオープンしたほか、和歌山県と長野県への初出店を含めて、8店舗の新規出店を行いました。今後もますます効果的な店舗網の拡充を進める計画です。

事業規模の拡大に向け大きく前進

さらに当中間期には、いよいよドン・キホーテ海外進出のための足がかりを築きました。2005年12月に株式会社ダイエーとの間で、米国ハワイ州でGMS4店舗を運営する同社子会社を譲り受ける契約を締結。今後は当社な

らではの商品調達ルートや店舗づくりのノウハウを生かし、その事業価値を大幅に改善させながら、海外マーケットにおけるドン・キホーテの可能性を確かめていく考えです。

また、7兆円超の巨大なコンビニ市場に挑戦するため、「次世代型コンビニエンスストア事業」の開発とフォーマットの確立に向けて、スピード感を持って取り組んでまいります。

さらなる企業価値の向上・株主価値の拡大を目指して、積極的な戦略・施策を推し進めるドン・キホーテのこれからの、ぜひご期待ください。

代表取締役会長 兼 最高経営責任者 (CEO)

安田 隆夫

代表取締役社長 兼 最高執行責任者 (COO)

成沢 潤治



代表取締役社長 兼 最高執行責任者 (COO)

成沢 潤治 (なるさわ・じゅんじ)

1962年生まれ、92年ドン・キホーテ入社。95年取締役営業本部長、2005年1月取締役副社長を経て同年9月より現職

「主権在現」を掲げる当社は、各現場の担当者に大胆に権限を委ねる企業です。私もたった一店舗しかなかった頃から、仕入・販売に限らず、高いモチベーションを維持する人事やマネジメント面に至るまで、安田会長のDNA、ドン・キホーテのDNAを学び、実践してきました。最高執行責任者 (COO) という重責を担った今、商品戦略・出店戦略の強化はもちろんのこと、「現場力の強化」を第一に考え、柔軟性・機動性に富んだ組織の構築、従

業員の教育や人事に、さらに注力したいと思っています。そうして現場の活気を高めながら人材を育てることが、仕入力の強化や魅力的な店舗の運営など、さまざまな施策の礎になると考えています。

今後も、「お客さま第一主義」のドン・キホーテだからこそ提供できるショッピングの楽しさを、より多くのお客さまに知っていただくため、営業戦略の一層の充実に向け邁進していく所存です。

▶ 全国へ、着々と店舗網を拡大中

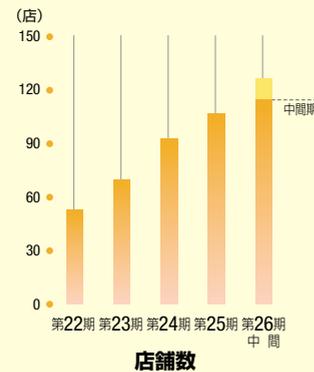
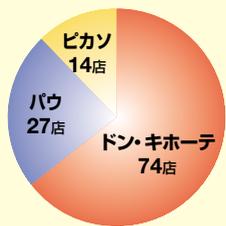
2005年7月、東北エリアでの初出店となる「パウ仙台南店」を宮城県仙台市にオープンしました。さらに10月には和歌山県に「ぶらくり丁店」、11月には長野県に「パウ川中島店」を初出店。また静岡県では、8月に県東部で初めての「沼津店」もオープンしており、当中間期末時点での出店は全国25都道府県・115店舗まで広がっています。

▶ 首都圏での高密度出店も大きく前進

当社は、エリア拡大の一方で、首都圏では一定の地域に集中出店するドミナント化により、効率的な認知度アップや物流・販促体制の強化を図っています。都内では山手線主要駅に店舗を揃えてきたのに加え、2005年8月に「ピカソ西早稲田店」を出店。また、神奈川県にも2005年10月に「日ノ出町店」、2006年1月に「横浜西口店」をオープンしました。

未出店エリアへの進出と首都圏での高密度な展開。 2つの推進力で、効果的な出店を継続中です。

計**115**店
(2005年12月末現在)



店舗へのアクセス、営業時間等の詳細は、当社ホームページをご覧ください。

<http://www.donki.com/shop/>

関西エリア

- 大阪府
 - 箕面店
 - 枚方店
 - 狭山店
 - 内環深江店
 - 羽曳野店
 - 十三店
 - 和泉店
 - 八尾店
 - ★桜ノ宮店

- 京都府
 - 京都南インター店
 - 河原町店
- 奈良県
 - 奈良店

和歌山県

- ★ぶらくり丁店

兵庫県

- 伊丹店
- 姫路南店
- 三宮店
- 加古川店
- パウ西宮店*

九州エリア

- 福岡県
 - 楽市街道箱崎店
 - 西新店
 - 楽市楽座久留米店
 - 黒崎店*

熊本県

- パウ上熊本店*

大分県

- D・Plaza大分店

中国エリア

- 広島県
 - パウ広島西原店*

四国エリア

- 香川県
 - パウ高松店*

中部エリア

- 愛知県
 - パウ中川山王店*
 - 楽市街道名古屋店*
 - パウ新安城店*

静岡県

- 静岡岡替町店
- ★沼津店
- パウSBS通り店*

長野県

- ★パウ川中島店*

山梨県

- パウいさわ店*

新潟県

- 新潟駅南店*

石川県

- パウ金沢店*

関東エリア

- 東京都
 - 府中店
 - 新宿店
 - 葛西店
 - 環八世田谷店
 - 環七梅島店
 - 京浜蒲田店
 - 京王堀之内店
 - 東八三鷹店
 - 小金井公園店
 - 渋谷店
 - めじろ台店
 - 環七方南町店
 - 新宿東口本店
 - 小平店
 - 六本木店
 - 青戸店
 - 町田駅前店
 - BIG FUN平和島店
 - 中野駅前店



日ノ出町店

北海道エリア

- 北海道
 - 手稲店
 - 平岡店
 - 札幌店
 - 旭川店
 - 厚別店*

東北エリア

- 宮城県
 - ★パウ仙台南店*



パウ仙台南店

★は、当中間期に新しく出店したお店(8店舗)です。

*は、「パウ」タイプの店舗です。

関東エリア

- 東京都
 - 練馬店
 - 銀座本館
 - 銀座ブランド館
 - 竹の塚店
 - 上野店
 - パウきたいけぶくろ店*
 - 秋葉原店*
 - ピカソ新小岩店
 - ピカソ国分寺店
 - ピカソ池袋東口店
 - ピカソ三軒茶屋店
 - ピカソ環七江戸川店
 - ★ピカソ西早稲田店

神奈川県

- 東名川崎店
- 新横浜店
- 港山下店
- 東名相模原店
- 横須賀店
- 東名横浜インター店



沼津店



パウ川中島店

関東エリア

- 東京都
 - 戸塚原宿店
 - 厚木店
 - ★日ノ出町店
 - パウかわさき店*
 - パウひらつか店*
 - ピカソ伊勢佐木町店
 - ピカソ鶴見駅前店
 - ピカソ港南台店

埼玉県

- 大宮店
- 大宮大和田店
- 川口新井宿店
- 蕨店
- 新座野火止店
- ピカソ上尾店
- ピカソ久喜店

千葉県

- 木更津店
- 幕張店
- 市原店

関東エリア

- 東京都
 - 原木西船橋店
 - 千葉中央店
 - 成田店
 - ★行徳駅前店
 - パウかしわ店*
 - ピカソ本八幡店
 - ピカソ船橋競馬場店
 - ピカソ君津店

茨城県

- パウつちうらきた店*

栃木県

- 宇都宮店

群馬県

- パウたかさき店*
- パウいせさき店*

ショッピングをもっと楽しんでいただくために、 店舗づくりやサービスの充実に努めています。

ドン・キホーテ初の海外進出へ

当中間期には、ドン・キホーテ初の海外進出という、将来のグローバルな展開に向けての第一歩を踏み出しました。これは米国ハワイ州でGMS*4店舗を運営する株式会社ダイエーの子会社・ダイエーUSA Inc.を譲り受けるもので、2005年12月に契約を締結。当面は地元に基づいているスーパーマーケット事業を継続しつつ、軌道に乗せた後は当社ならではの店舗づくりも取り入れて海外での店舗展開の可能性を探っていく計画です。



*General Merchandise Storeの略。食料品、衣料品、雑貨等の日用品を総合的に品揃えしている大規模小売店のこと。

個性豊かな売り場が続々登場

出店が加速し店舗数も増えてきたドン・キホーテですが、それぞれの地域特性に合わせた個性的な売り場づくりにも取り組んでいます。その代表例の1つが秋葉原店5階に設けた「コスプレ館」。「着ぐるみ」のヒット、昨今の「アキバ系」・「萌え」の一般化により、多くのお客さまにも変身願望があることをいち早く察知した、当社ならではのコーナーです。メイドやナース、セーラー服などの定番から、ドンキオリジナル商品までさまざまなコスプレ用の衣装を用意した、常時1,400着の品揃えは



日本最大級の規模。秋葉原店での成功をもとに横浜西口店・六本木店・中野駅前店・道頓堀店・町田駅前店など、都市型店を中心に展開していきます。

神奈川県・横浜の基幹店 「横浜西口店」がオープン!

全国有数のターミナル駅・横浜駅の西口すぐそばという好立地に2006年1月、「横浜西口店」がオープンしました。地下1階から地上5階までのトータルで約2,300㎡という売場面積は、ドン・キホーテ単独店では最大級。食料品、生活雑貨から衣料品、ブランド品、家電までフルアイテムを揃え、県内で15店、横浜市内で8店を展開する当社の神奈川県における基幹店として位置づけています。



クラブドンペンカードがさらに充実。 もっとお得に!

ドン・キホーテブランドのクレジットカード、「クラブドンペンカード」のサービスが充実し、さらにお得になりました。2005年8月から会員用ホームページでポイント照会や登録変更などが可能になったほか、貯めたポイントを商品と交換できるポイント還元ショップもオープン。同年10月からはポイントサービスがパワーアップして、ドン・キホーテ店舗でのクラブドンペンカード決済では3%、現金及びデビット決済では1%をポイント還元。こうしたサービスの向上もあり、クラブドンペンカードの入会申込者数は同年11月で30万人を超えています。今後もお得なサービスを続々打ち出し、お客さまにお買い物をより楽しんでいただけるようなサポートをしていきます。

<http://www.clubdonpen.com/pc/>



連結財務諸表(要約)

連結損益計算書

(単位:百万円)

	当中間期	前中間期	前期
	自平成17年7月1日 至平成17年12月31日	自平成16年7月1日 至平成16年12月31日	自平成16年7月1日 至平成17年6月30日
売上高	131,247	119,368	232,778
売上原価	100,854	92,152	179,330
売上総利益	30,393	27,217	53,448
販売費及び一般管理費	22,985	20,707	42,634
営業利益	7,407	6,509	10,814
営業外収益	1,504	1,331	2,724
営業外費用	434	268	697
経常利益	8,477	7,573	12,841
特別利益	124	63	421
特別損失	48	145	572
税金等調整前中間(当期)純利益	8,553	7,491	12,690
法人税、住民税及び事業税	3,872	3,418	5,742
法人税等調整額	△173	△198	△188
少数持株損失	—	19	27
中間(当期)純利益	4,854	4,289	7,163

売上高は前中間期比10.0%増で、既存店の伸長率も4.0%増と高水準で増収を維持しました。新規出店8店で売場面積は14,199m²増加しています。また売上総利益率が23.2%と前中間期より0.4ポイント上昇して過去最高水準を達成し、営業利益は前中間期比13.8%増となりました。営業外収支戻11億円などの貢献があり、経常利益(同11.9%増)・純利益(同13.2%増)も引き続き増益を達成しました。2005年8月に保有4店舗の資産流動化(89億円)を実施し、オフ・バランス効果およびキャッシュ・フローの改善効果を創出しました。なお当中間期末における株主資本比率は35.3%となっています。

連結剰余金計算書

(単位:百万円)

	当中間期	前中間期	前期
	自平成17年7月1日 至平成17年12月31日	自平成16年7月1日 至平成16年12月31日	自平成16年7月1日 至平成17年6月30日
〈資本剰余金の部〉			
資本剰余金期首残高	10,968	8,449	8,449
資本剰余金増加高	899	1,547	2,519
資本剰余金中間期末(期末)残高	11,867	9,996	10,968
〈利益剰余金の部〉			
利益剰余金期首残高	32,346	25,808	25,808
利益剰余金増加高	4,854	4,289	7,163
中間(当期)純利益	4,854	4,289	7,163
利益剰余金減少高	908	625	625
配当金	869	625	625
自己株式処分差損	38	—	—
利益剰余金中間期末(期末)残高	36,292	29,472	32,346

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当中間期	前中間期	前期
	自平成17年7月1日 至平成17年12月31日	自平成16年7月1日 至平成16年12月31日	自平成16年7月1日 至平成17年6月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,765	9,185	8,431
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,121	△9,094	△14,950
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,253	6,869	12,669
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	1	1
現金及び現金同等物の増加額	10,897	6,959	6,151
現金及び現金同等物期首残高	15,055	8,904	8,904
現金及び現金同等物中間期末(期末)残高	25,952	15,863	15,055

(注)記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しています。

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当中間期末	前中間期末	前期末
	平成17年12月31日現在	平成16年12月31日現在	平成17年6月30日現在
資産の部			
流動資産	76,507	62,439	61,193
現金及び預金	25,952	15,863	15,055
売掛金	3,188	2,983	2,311
棚卸資産	42,509	38,822	39,447
その他	4,858	4,771	4,380
固定資産	91,248	84,618	88,855
有形固定資産	55,187	60,518	62,979
無形固定資産	3,980	2,147	2,421
投資その他の資産	32,081	21,954	23,455
資産合計	167,755	147,057	150,048

負債の部

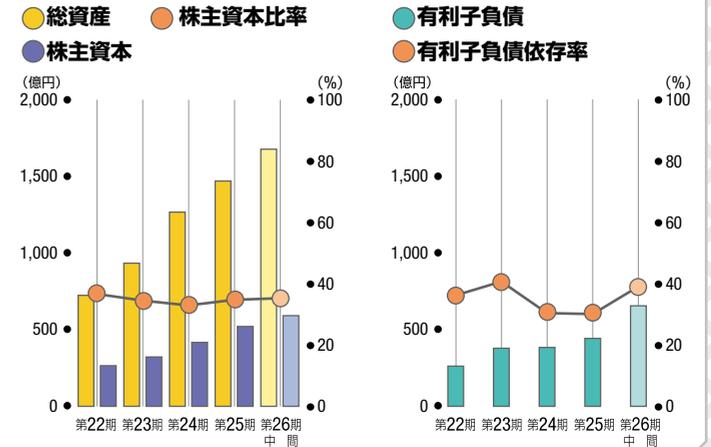
流動負債	55,771	59,187	40,285
買掛金	30,696	28,072	22,671
短期借入金 ^(1年内返済予定 長期借入金含む)	8,375	10,992	6,767
コマーシャルペーパー	4,000	10,000	—
1年内償還予定の社債	3,456	920	2,456
その他	9,244	9,203	8,391
固定負債	52,827	41,069	57,635
社債	26,656	8,880	28,884
転換社債	16,255	19,694	17,981
長期借入金	6,820	10,840	9,120
その他	3,096	1,655	1,650
負債合計	108,598	100,256	97,920

少数株主持分	—	8	—
--------	---	---	---

(注)記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しています。

(単位:百万円)

	当中間期末	前中間期末	前期末
	平成17年12月31日現在	平成16年12月31日現在	平成17年6月30日現在
資本の部			
資本金	10,553	8,682	9,654
資本剰余金	11,867	9,996	10,968
利益剰余金	36,292	29,472	32,346
その他有価証券評価差額金	927	157	675
自己株式	△482	△1,514	△1,515
資本合計	59,157	46,793	52,128
負債・少数株主持分・資本合計	167,755	147,057	150,048



単体財務諸表(要約)

損益計算書

	(単位:百万円)		
	当中間期 自平成17年7月1日 至平成17年12月31日	前中間期 自平成16年7月1日 至平成16年12月31日	前期 自平成16年7月1日 至平成17年6月30日
売上高	129,625	116,111	228,384
売上原価	98,920	89,010	174,335
売上総利益	30,705	27,101	54,049
販売費及び一般管理費	23,248	20,746	43,364
営業利益	7,457	6,355	10,685
営業外収益	1,529	1,338	2,781
営業外費用	356	267	685
経常利益	8,630	7,426	12,781
特別利益	124	—	358
特別損失	36	144	578
税引前中間(当期)純利益	8,718	7,282	12,561
法人税、住民税及び事業税	3,741	3,333	5,604
法人税等調整額	△179	△204	△185
中間(当期)純利益	5,156	4,153	7,142
前期繰越利益	1,980	2,208	2,208
自己株式処分差損	38	—	—
中間(当期)未処分利益	7,098	6,361	9,350

貸借対照表

	(単位:百万円)		
	当中間期末 平成17年12月31日現在	前中間期末 平成16年12月31日現在	前期末 平成17年6月30日現在
資産の部			
流動資産	76,728	62,290	61,796
現金及び預金	22,278	14,732	13,721
売掛金	4,179	2,622	2,006
棚卸資産	42,503	38,822	39,443
その他	7,768	6,114	6,626
固定資産	88,059	82,720	86,859
有形固定資産	51,737	57,306	59,500
無形固定資産	2,462	2,145	2,418
投資その他の資産	33,860	23,269	24,941
資産合計	164,787	145,010	148,655

負債の部

流動負債	54,559	57,757	39,374
買掛金	30,689	28,017	22,670
短期借入金 ^(1年内返済予定 長期借入金含む)	7,990	10,867	6,642
コマーシャルペーパー	4,000	10,000	—
1年内償還予定の社債	3,456	920	2,456
その他	8,424	7,954	7,606
固定負債	50,841	40,648	57,226
社債	26,656	8,880	28,884
転換社債	16,255	19,694	17,981
長期借入金	6,595	10,840	9,120
その他	1,335	1,234	1,241
負債合計	105,400	98,405	96,600

資本の部

資本金	10,553	8,682	9,654
資本剰余金	11,867	9,996	10,968
利益剰余金	36,521	29,283	32,273
その他有価証券評価差額金	928	157	675
自己株式	△482	△1,514	△1,515
資本合計	59,387	46,604	52,055
負債・資本合計	164,787	145,010	148,655

(注)記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しています。

会社・株式データ

(2005年12月31日現在)

会社の概況

商号	株式会社 ドン・キホーテ (英文名: Don Quijote Co., Ltd.)
事業内容	家電製品、日用雑貨品、食品、時計・ファッション用品及びスポーツ・レジャー用品等の販売を行うビッグコンビニエンス&ディスカウント・ストア
本店所在地	東京都江戸川区北葛西4-14-1 (〒134-0081)
本社所在地	東京都新宿区西新宿2-6-1 (〒163-0235) 新宿住友ビル35F TEL.03-5381-7532 FAX.03-5381-7606
設立年月日	1980年9月5日
資本金	105億5,330万円
従業員数	1,618名

役員

代表取締役会長兼CEO	安田 隆夫	常勤監査役	高橋 睦男
代表取締役社長兼COO	成沢 潤治	監査役	江原 均
専務取締役兼CFO	高橋 光夫	監査役	上野 勝
取締役	大原 孝治	監査役	岩出 誠
取締役	久保田 清		
取締役	稲村 角雄		

(注) 監査役の4氏は、商法特例法第18条第1項に定める社外監査役です。

株式の状況

会社が発行する株式の総数	78,000,000株
発行済株式の総数	22,380,205株
自己株式の総数	88,164株
株主総数	3,606名 (注)前期末と比較して1,704名減少しています。

大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	議決権比率(%)
安田 隆夫	4,546,000	20.40
LA MANCHA	3,000,000	13.46
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)*	1,577,700	7.08
株式会社安隆商事	1,280,000	5.74
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)*	864,800	3.88
UBS AG HONG KONG	766,200	3.44
THE CHASE MANHATTAN BANK, N.A. LONDON	502,400	2.25
THE CHASE MANHATTAN BANK, N.A. LONDON SECS LENDING OMNIBUS ACCOUNT	368,600	1.65
CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW	359,220	1.61
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LONDON/JASDEC/UK RESIDENTS	300,000	1.35

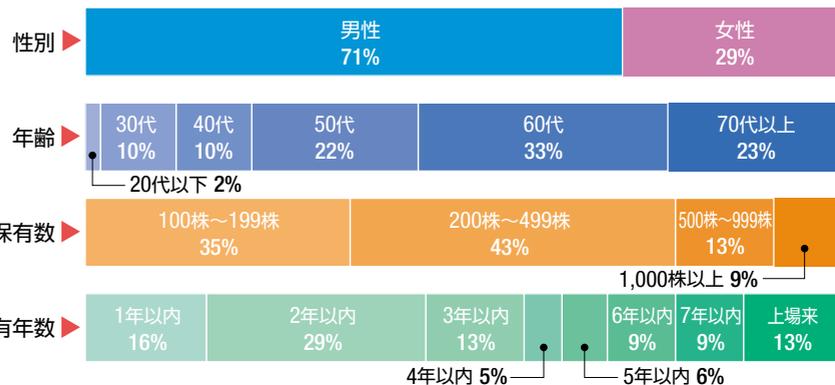
(注)※の持株数には、信託業務に係る株式数が含まれています。
安田隆夫及び株式会社安隆商事には、上記以外に株券消費貸借により貸出している株式があります。

アンケート結果のご報告



前回のアンケートにたくさんのご協力をいただき、誠にありがとうございました。
昨年度放火で被害を受けたことに対して、大変多くの皆さまから、励ましのお言葉をいただきました。
皆さまからお寄せいただきましたご支援・ご声援につきましては、改めて役員及び従業員一同心より感謝申し上げます。
さて今回は、アンケート結果の一部をご紹介させていただくとともに、代表的なご質問に回答させていただきます。

ご回答いただいた方のプロフィール



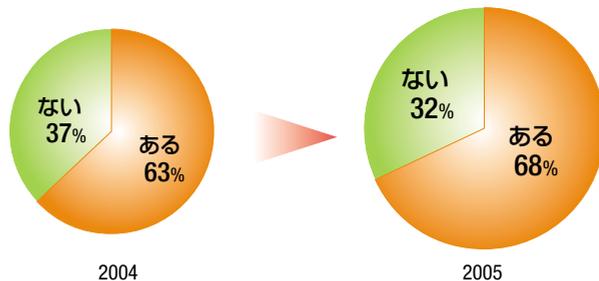
「ドンキのファンなので長期保有します」というような、うれしいコメントもたくさんいただきました!



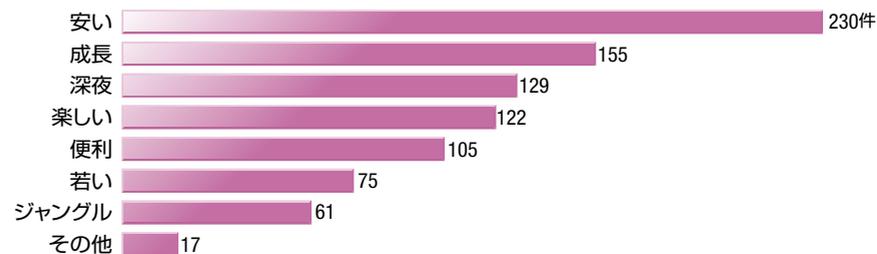
事業報告書についてのご回答

Q. 当社店舗をご利用されたことはありますか?

出店エリアが広がったことで、当社店舗を利用できるようになった株主さまも増えたようですね。



Q. ドン・キホーテのイメージとは? (複数回答)



Q. ドン・キホーテのコンプライアンスに対する取り組みは怎么样了か?

A. 当社では、コンプライアンス専任部署を設け、社内ルールの整備・策定及び周知徹底を行っています。個人情報保護方針については、当社ホームページ上で開示していますのでご確認ください。
(<http://www.donki.com/b/privacy.php>)
また、専門家を招いて、コンプライアンスについての講習会を実施し、社員全体へのコンプライアンスへの意識向上にも力をいれています。企業としての社会的責任を果たすため、今後も一層、コンプライアンス体制を強化していきます。



Q. 株主優待制度をつかってほしいのですが、予定はありますか?

A. 株主優待制度は株主還元策の一つの選択肢ではありますが、現時点では導入していません。当社は、積極的な事業展開のもと、財務体質の強化を図り、企業価値を高めるとともに、業績に応じた弾力的な配当の実施を行っていくことが、最重要課題のひとつであると認識しています。今後もまず配当を通じて、皆さまからのご期待にお応えしていきたいと考えています。

Q. “えびすタワー”等に投資をするよりは、もっと実質的に安く良いものを提供したほうがよいのでは?

A. “えびすタワー”のようなランドマークを建設することは、その店舗の集客能力・知名度を高めることだけが目的ではありません。一店舗のエンターテインメント性のみにとどまることなく、一つのランドマークから得られるシナジー効果を最大限に活用し、当社の全国展開への推進力とする点にあります。もちろん、そこから生まれた価値は、お客さまに提供する商品価格に反映していきます。

